



## 2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月6日

上場会社名 株式会社山田債権回収管理総合事務所 上場取引所 東  
 コード番号 4351 URL <http://www.yamada-servicer.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 晃久  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田中 光行 TEL 045 (325) 3933  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	947	18.2	△80	—	△86	—	△92	—
2020年12月期第2四半期	801	△24.4	△204	—	△174	—	△176	—

（注）包括利益 2021年12月期第2四半期 △105百万円（－％） 2020年12月期第2四半期 △171百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	△21.72	—
2020年12月期第2四半期	△41.37	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	5,486	2,905	53.0
2020年12月期	6,179	3,053	49.4

（参考）自己資本 2021年12月期第2四半期 2,905百万円 2020年12月期 3,053百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,821	34.6	280	—	272	—	173	—	40.71

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2 Q	4,268,000株	2020年12月期	4,268,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期2 Q	8,396株	2020年12月期	8,367株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2 Q	4,259,632株	2020年12月期2 Q	4,259,633株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく景気、不動産市況、金利、為替動向等の社会・経済動向の変化が含まれます。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により引続き厳しい状況におかれましては。今後の状況等について引続き注視してまいります。

このような環境下、当社グループは、「顧客第一主義」を経営理念に掲げ、「不動産・債権に関するワンストップサービスの提供」をビジネスモデルとして、サービサー事業、派遣事業、不動産ソリューション事業等を展開してきました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が947百万円(前年同期比18.2%増)となり、営業損失は80百万円(前年同期は営業損失204百万円)、経常損失は86百万円(前年同期は経常損失174百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は92百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失176百万円)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

## ① サービサー事業

サービサー事業においては、既存の購入済み債権からの回収が計画よりずれ込んだこと、新型コロナウイルス感染症の影響による債務者への回収配慮や、法的回収手続きの遅延があったこと等により、売上高は286百万円(前年同期比104.4%増)、セグメント利益は98百万円(前年同期はセグメント損失34百万円)となりました。

なお買取債権の新規購入は相応の実績がありました。

## ② 派遣事業

派遣事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響は限定的で、概ね計画通りに推移した結果、売上高は669百万円(前年同期比4.9%増)、セグメント利益は104百万円(前年同期比22.2%増)となりました。

## ③ 不動産ソリューション事業

不動産ソリューション事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、新規の営業活動で思うように面談が進まない等のケースがありました。底地ビジネスに引続き注力する予定です。売上高は4百万円(前年同期比88.9%減)、セグメント損失は35百万円(前年同期はセグメント損失5百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産5,486百万円(前連結会計年度末に比べ692百万円減)、株主資本2,797百万円(同135百万円減)となりました。

## (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産の残高は4,437百万円(前連結会計年度末に比べ587百万円減)となりました。これは主に、現金及び預金408百万円の減少、買取債権103百万円の減少、販売用不動産28百万円の減少、未収還付法人税等25百万円の減少によるものであります。

## (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末の固定資産の残高は1,048百万円(前連結会計年度末に比べ105百万円減)となりました。これは主に、投資有価証券118百万円の減少、有形固定資産16百万円の増加によるものであります。

## (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債の残高は1,610百万円(前連結会計年度末に比べ547百万円減)となりました。これは主に、短期借入金500百万円の減少、未払金17百万円の減少、未払法人税等25百万円の減少によるものであります。

## (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末の固定負債の残高は970百万円(前連結会計年度末に比べ3百万円増)となりました。これは主に、役員退職慰労引当金9百万円の増加、繰延税金負債7百万円の減少によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の残高は2,905百万円(前連結会計年度末に比べ147百万円減)となりました。これは主に、配当に伴う利益剰余金42百万円の減少、親会社株主に帰属する四半期純損失92百万円の計上によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動により67百万円の資金を獲得、投資活動により78百万円の資金を獲得、財務活動により554百万円の資金を支出した結果、当第2四半期連結会計期間末には1,113百万円（前連結会計年度末に比べ407百万円減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、67百万円（前年同期は256百万円の支出）となりました。これは主に、買取債権の回収による収入1,066百万円、買取債権の購入による支出698百万円があったこと等によるものです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は、78百万円（前年同期は1,087百万円の獲得）となりました。これは主に、投資事業組合出資金の返還による収入101百万円、有形固定資産の取得による支出24百万円があったこと等によるものです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、554百万円（前年同期は566百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出500百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出11百万円、配当金の支払額42百万円があったこと等によるものです。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期以降、サービス事業においては、当第2四半期に新型コロナウイルス感染症の影響で遅延していた回収にかかる法的諸手続き等が正常化する見通しであり、当第2四半期から回収がずれ込んでいる案件を含めて、当期中の回収を見込んでおります。

また、不動産ソリューション事業においても、新型コロナウイルス感染症の影響で遅延していた底地の仕入れが進み、当第3四半期以降に購入予定の物件を含めて、当期中の売却を見込んでおります。

派遣事業につきましては、当第3四半期以降も引き続き安定的に推移するものと見込んでおります。

このため、連結業績予想については、2021年2月9日発表の「2020年12月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を変更しておりません。

なお、新型コロナウイルス感染症による業績への影響につきましては、注視を続け、今後、業績予想の修正が必要と判断される場合には速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,610,486	1,202,255
売掛金	114,997	129,889
買取債権	3,735,128	3,631,823
販売用不動産	203,055	174,421
仕掛品	1,297	1,163
未収入金	61,311	69,495
未収還付法人税等	25,626	—
その他	72,674	80,076
貸倒引当金	△799,550	△851,535
流動資産合計	5,025,027	4,437,589
固定資産		
有形固定資産	60,862	77,860
無形固定資産	13,387	11,826
投資その他の資産		
投資有価証券	843,239	724,289
差入保証金・敷金	156,418	156,418
繰延税金資産	1,254	103
その他	78,988	78,438
投資その他の資産合計	1,079,901	959,250
固定資産合計	1,154,151	1,048,936
資産合計	6,179,179	5,486,526
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1	1
短期借入金	1,940,000	1,440,000
未払金	80,298	63,075
リース債務	19,960	22,208
未払法人税等	38,930	13,603
預り金	29,632	24,412
賞与引当金	17,000	18,300
その他	32,839	29,281
流動負債合計	2,158,663	1,610,882
固定負債		
リース債務	35,257	35,422
繰延税金負債	52,850	45,497
役員退職慰労引当金	609,534	619,255
退職給付に係る負債	235,582	237,193
預り保証金	21,620	21,160
資産除去債務	10,899	10,995
その他	1,441	779
固定負債合計	967,186	970,304
負債合計	3,125,849	2,581,186

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,084,500	1,084,500
資本剰余金	806,840	806,840
利益剰余金	1,044,488	909,368
自己株式	△3,167	△3,194
株主資本合計	2,932,661	2,797,514
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120,667	107,824
その他の包括利益累計額合計	120,667	107,824
非支配株主持分	—	—
純資産合計	3,053,329	2,905,339
負債純資産合計	6,179,179	5,486,526

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	801,698	947,714
売上原価	711,049	719,267
売上総利益	90,649	228,447
販売費及び一般管理費	294,980	309,351
営業損失(△)	△204,331	△80,904
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,521	3,494
家賃収入	6,875	5,775
投資事業組合利益	31,016	—
設備賃貸料	8,389	5,368
その他	597	2,961
営業外収益合計	50,400	17,600
営業外費用		
支払利息	11,527	13,555
家賃原価	1,063	1,231
投資事業組合損失	—	1,091
持分法による投資損失	7,474	7,456
その他	373	66
営業外費用合計	20,440	23,401
経常損失(△)	△174,370	△86,704
税金等調整前四半期純損失(△)	△174,370	△86,704
法人税、住民税及び事業税	1,782	5,475
法人税等調整額	83	344
法人税等合計	1,866	5,819
四半期純損失(△)	△176,237	△92,524
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△176,237	△92,524



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純損失(△)	△176,237	△92,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,782	△12,843
その他の包括利益合計	4,782	△12,843
四半期包括利益	△171,454	△105,367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△171,454	△105,367
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△174,370	△86,704
減価償却費	15,340	15,548
買取債権回収益	△129,182	△265,211
貸倒引当金の増減額(△は減少)	43,298	51,984
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4,903	9,721
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,529	1,611
投資事業組合運用損益(△は益)	△31,016	1,091
持分法による投資損益(△は益)	7,474	7,456
支払利息	11,621	13,651
売上債権の増減額(△は増加)	11,024	△14,891
たな卸資産の増減額(△は増加)	△151,890	28,768
未収入金の増減額(△は増加)	△6,925	△8,183
前払費用の増減額(△は増加)	△5,834	△7,528
立替金の増減額(△は増加)	10,418	483
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,212	0
未払金の増減額(△は減少)	△43,954	△23,434
預り金の増減額(△は減少)	△14,085	△4,898
買取債権の購入による支出	△377,339	△698,025
買取債権の回収による収入	337,777	1,066,541
その他	△5,134	△4,380
小計	△502,364	83,599
利息及び配当金の受取額	3,519	3,495
利息の支払額	△11,137	△13,479
法人税等の支払額	△13,483	△33,533
法人税等の還付額	266,859	27,662
営業活動によるキャッシュ・フロー	△256,606	67,743
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	—	△24,245
有形固定資産の売却による収入	—	7,463
投資有価証券の取得による支出	△29,380	△10,000
敷金の差入による支出	△5,787	—
投資事業組合出資金の返還による収入	1,115,493	101,012
預り保証金の返還による支出	—	△560
預り保証金の受入による収入	830	100
その他	6,636	4,699
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,087,793	78,470
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	100,000	—
短期借入金の返済による支出	△610,000	△500,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△14,247	△11,589
配当金の支払額	△42,480	△42,446
自己株式の取得による支出	—	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△566,728	△554,063
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	264,458	△407,849
現金及び現金同等物の期首残高	1,027,644	1,520,974
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,292,102	1,113,125

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大による影響)

新型コロナウイルス感染症により、今後も営業活動に影響があるものと見込んでおります。ただ、このような状況は、2021年末に向けて徐々に正常化すると仮定し、会計上の見積りを行っております。

なお、この仮定は不確実性が高く、収束遅延により影響が長期化した場合には、将来において当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日 至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	サービス 事業	派遣事業	不動産ソリ ューション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	140,097	619,814	41,787	801,698	—	801,698
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	17,785	—	17,785	—	17,785
計	140,097	637,599	41,787	819,484	—	819,484
セグメント利益又は損失 (△)	△34,400	85,799	△5,347	46,051	△2,237	43,814

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への売上高	—	801,698
セグメント間の内部売上 高又は振替高	△17,785	—
計	△17,785	801,698
セグメント利益又は損失 (△)	△248,145	△204,331

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、測量事業・投資事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額の主なものは、全社費用の248,247千円であり、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自2021年1月1日 至2021年6月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	サービス 事業	派遣事業	不動産ソリ ューション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	286,351	654,904	4,644	945,900	1,814	947,714
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	14,252	—	14,252	—	14,252
計	286,351	669,156	4,644	960,152	1,814	961,966
セグメント利益又は損失 (△)	98,987	104,827	△35,369	168,445	△995	167,449

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への売上高	—	947,714
セグメント間の内部売上 高又は振替高	△14,252	—
計	△14,252	947,714
セグメント利益又は損失 (△)	△248,353	△80,904

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、測量事業・投資事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額の主なものは、全社費用の248,360千円であり、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。